

(4) 調査結果

a) G 地区

(a) 貴重な鳥類の繁殖状況

G 地区における貴重な鳥類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.1.4-11 に、確認した繁殖状況を図 6.1.4-14 に、確認地点を図 6.1.4-15～図 6.1.4-16 に示した。確認時の状況については表 6.1.4-12～表 6.1.4-13 に示した。

G 地区における鳥類確認種は 9 種であった。このうち、、 の 3 種で繁殖が確認された。

は、南西側の河川沿い 1 ヶ所で営巣が確認された。巣はイタジイに掘られており、親鳥による餌の運び込み等が確認された。

着陸帯北東側の尾根で巣立ち後の幼鳥が確認された。

は、着陸帯北東側と西側の 2 ヶ所で、斜面の木のウロに営巣が確認された。

その他に、繁殖の可能性がある種として、

 の 5 種が確認され、それぞれさえずりなどが確認されている。
 については、巣立ち後ある程度経過し広範囲を移動可能と考えられる幼鳥が確認された。

表 6.1.4-11 貴重な鳥類の生息及び繁殖状況 (G 地区)

ランク	現地調査に関する基準									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
a	繁殖を確認した。					○ 1	○ 1		○ 3	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。	○ 2		○ 1	○ 1		○ 8	○ 2	○ 6	○ 4
c	生息を確認したが、繁殖については何ともいえない。		○ 1	○ 2		○ 1	○ 27	○ 3	○ 1	

注 1) ランク区分は、環境省第 6 回自然環境保全基礎調査「鳥類繁殖状況調査報告書 (環境省編、平成 16 年)」の区分に準じる。

注 2) 表中の数字は確認件数を示す。

表 6.1.4-12 の確認状況 (G 地区)

No.	地区	調査日	調査時間	種名	個体数	形態	ランク	繁殖コード	備考
1	G	20180424	14:35		1	巣跡	ランクc	50	高い枝に2つ・掘りくずなし
2	G	20180424	15:12		1	巣跡	ランクc	50	イタジイ
3	G	20180425	10:00		1	巣跡	ランクc	50	
4	G	20180425	10:29		1	巣跡	ランクc	50	ウラジロガシ
5	G	20180509	12:03		1	巣跡	ランクc	50	ウラジロガシ?
6	G	20180424	14:29		1	ドラミング	ランクb	30	尾根
7	G	20180424	15:52		1	ドラミング	ランクb	30	尾根・巣跡あり
8	G	20180425	11:20		1	ドラミング	ランクb	30	ドラミング
9	G	20180425	13:06		1	ドラミング	ランクb	30	斜面
10	G	20180524	8:07		1	成体	ランクb	30	ドラミング
11	G	20180620	15:45		1	成体	ランクb	30・40	家族群
12	G	20180424	13:49		1	巣跡	ランクb	35	掘りかけ・下に掘りくず・古巢も・造巢中かも
13	G	20180425	9:52		2	成体	ランクa	10	斜面のイタジイ上に巣穴確認、成鳥が巢内をコンコンつつく。営巢中
14	G	20180621	17:14		1	巣跡	ランクb	38	沢沿いの木、高さ8m位
15	G	20180424	15:41		1	巣跡	ランクc	50	古い・イタジイ
16	G	20180425	8:20		1	巣跡	ランクc	50	古い
17	G	20180424	14:03		1	採餌痕	ランクc	50	立枯木
18	G	20180424	14:18		1	成体	ランクc	50	♂・巢に飛んだ後、「キョッ」と鳴く
19	G	20180424	14:25		1	採餌痕	ランクc	50	倒木
20	G	20180424	15:30		1	齢不明	ランクc	50	樹冠を移動し飛び去った
21	G	20180425	7:54		1	成体	ランクc	50	成体の採餌
22	G	20180425	7:58		1	採餌痕	ランクc	50	枯立木
23	G	20180425	8:14		1	採餌痕	ランクc	50	倒木
24	G	20180425	8:20		1	成体	ランクc	50	古巢の近くから飛び去った
25	G	20180425	10:50		1	成体	ランクc	50	樹冠で採餌。イタジイの幹を深く掘ってる。巣造り初め?
26	G	20180425	12:04		1	採餌痕	ランクc	50	落枝
27	G	20180509	10:21		1	採餌痕	ランクc	50	倒木
28	G	20180509	11:45		2	成体	ランクc	50	♂・♀
29	G	20180509	12:08		1	採餌痕	ランクc	50	落枝
30	G	20180510	8:21		1	採餌痕	ランクc	50	倒木
31	G	20180510	9:11		1	成体	ランクc	50	♀の採餌?
32	G	20180510	9:20		1	採餌痕	ランクc	50	立枯木
33	G	20180523	13:38		1	採餌痕	ランクc	50	落枝
34	G	20180425	9:36		1	齢不明	ランクc	51	「フィット」
35	G	20180509	15:04		1	齢不明	ランクc	51	斜面
36	G	20180620	15:40		1	齢不明	ランクc	51	林内



図 6.1.4-14 (1) の繁殖状況 (G 地区)

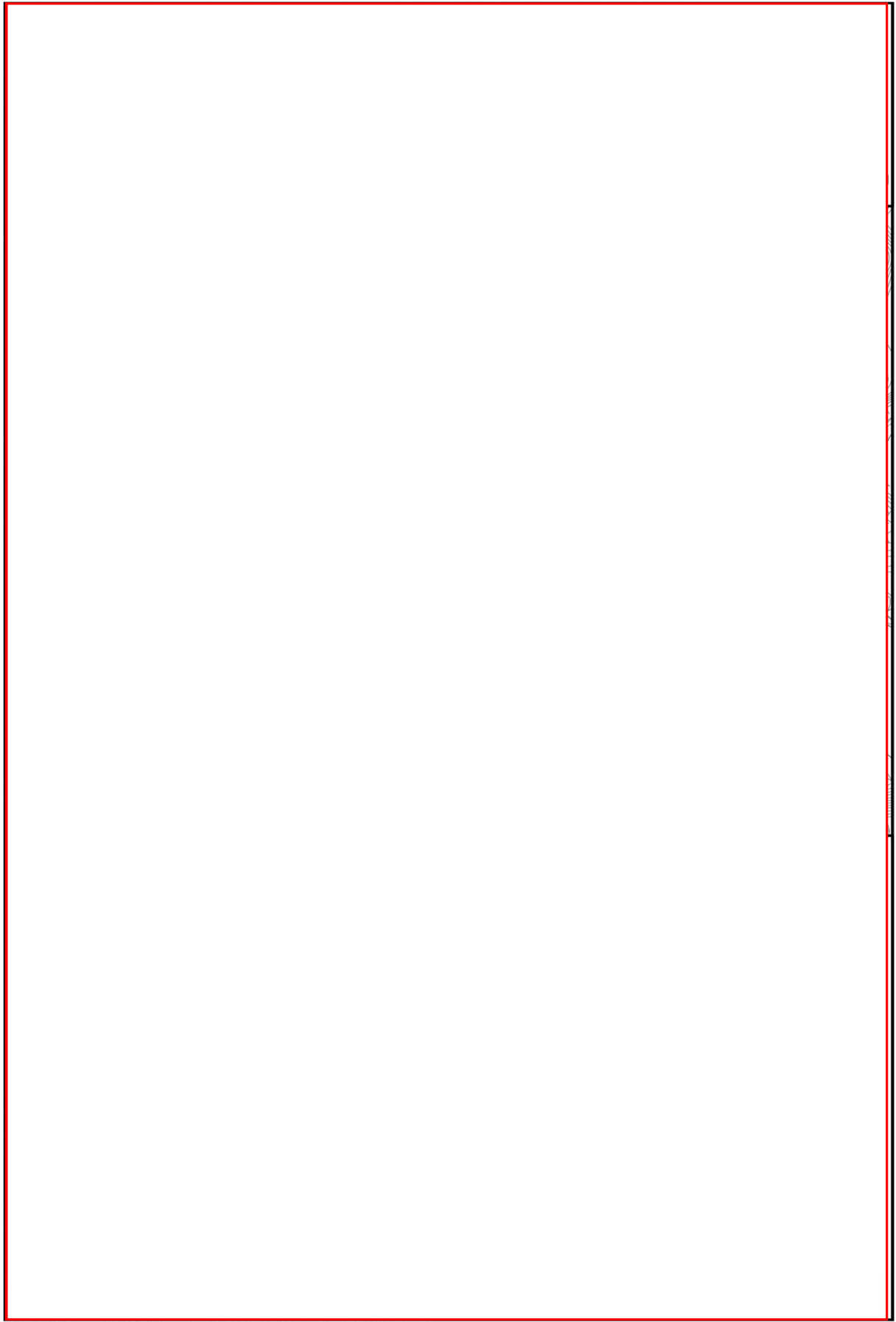


図 6.1.4-15 の確認及び繁殖位置(G地区)

表 6.1.4-13 鳥類の確認状況 (G 地区)

No.	地区	調査日	調査時間	種名	個体数	形態	ランク	繁殖コード	備考
1	G	20180425	8:51		2	齢不明	ランクc	51	斜面
2	G	20180425	12:12		2	成体	ランクc	50	採餌
3	G	20180509	10:30		1	齢不明	ランクc	51	地鳴き
4	G	20180509	14:52		2	成体	ランクb	30	さえずり
5	G	20180523	14:23		2	幼体	ランクb	39	巢立ちヒナ
6	G	20180424	13:56		1	成体	ランクb	30	さえずり
7	G	20180425	7:54		2	成体	ランクb	50	つがい?
8	G	20180425	11:02		2	成体	ランクb	30	さえずり
9	G	20180425	12:26		1	成体	ランクb	30	尾根
10	G	20180509	11:06		1	齢不明	ランクc	51	地鳴き
11	G	20180523	13:32		1	成体	ランクb	50	尾根道
12	G	20180523	14:00		1	営巣	ランクa	11	営巣 ♀が抱卵
13	G	20180523	14:34		1	巢跡	ランクa	16	今年使用したもの
14	G	20180620	15:15		1	齢不明	ランクb	51	林内
15	G	20180620	20:13		1	巢跡	ランクa	16	今年利用・木のうろの中
16	G	20180424	14:57		2	成体	ランクb	30	鳴き交わし
17	G	20180425	13:24		1	成体	ランクb	30	さえずり 斜面
18	G	20180620	20:00		1	成体	ランクb	30	林内
19	G	20180621	20:08		1	齢不明	ランクc	51	枯れ沢
20	G	20180425	7:59		1	成体	ランクb	30	さえずり
21	G	20180425	8:46		1	成体	ランクb	30	斜面
22	G	20180509	11:25		1	成体	ランクb	30	さえずり
23	G	20180509	11:40		1	成体	ランクb	30	さえずり
24	G	20180425	10:10		1	齢不明	ランクc	51	斜面
25	G	20180509	15:40		1	幼体	ランクa	21	かなり行動のおぼつかない幼鳥
26	G	20180523	14:24		1	成体	ランクb	30	「コホー」
27	G	20180620	20:08		1	齢不明	ランクc	51	林内から鳴き声
28	G	20180621	20:05		1	齢不明	ランクc	51	沢沿いから鳴き声



雛に給餌する の巣と卵

図 6.1.4-14 (2) 貴重な鳥類の繁殖状況 (G 地区)

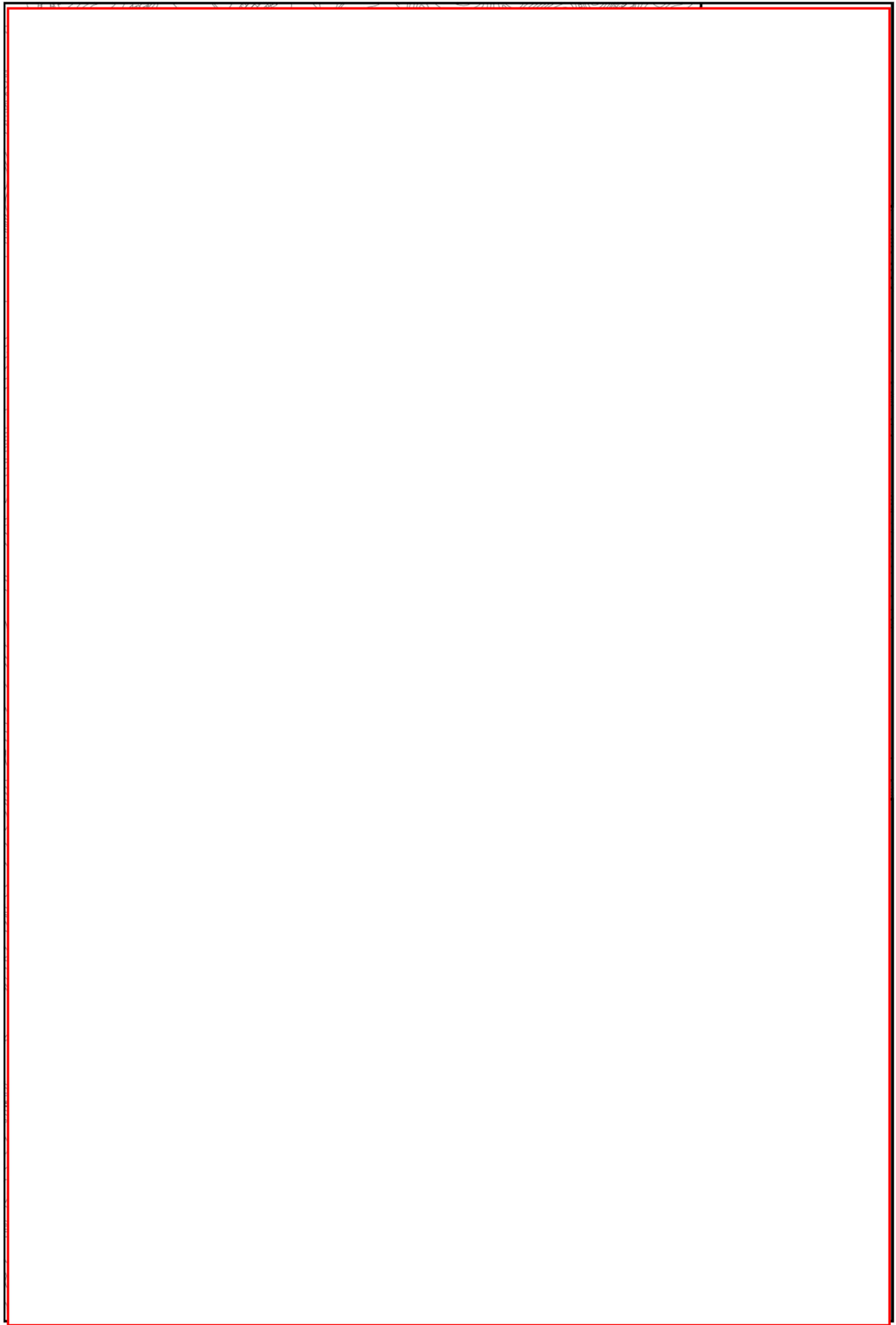


図 6.1.4-16 その他貴重な鳥類の確認及び繁殖位置(G地区)

(b) 貴重なカエル類の繁殖状況

ア) 春季

G 地区における春季の貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.1.4-14 に、確認した繁殖状況を図 6.1.4-17 に、確認地点を図 6.1.4-18 に示した。

春季に確認された種は、、の 5 種であった。このうち、及びで繁殖が確認された。

は、着陸帯西側の河川で幼生が確認され、確認環境は河川の淵であった。は、着陸帯北東側の河川の湿地状になった川床に幼生が確認された。

その他に繁殖の可能性のある種として、の鳴き声を確認された。

表 6.1.4-14 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (G 地区 : 春季)

ランク	現地調査に関する基準	<input type="text"/>				
a	繁殖を確認した。				○ 2	○ 1
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性はある。	○ 1				○ 1
c	生息を確認した。	○ 1	○ 4	○ 1	○ 2	○ 1

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例:複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生(場地区直後の小型の幼体)の確認と定義した。
注 3) 「繁殖可能性はある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が低いと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



[Red box]

の幼生

[Red box]

幼生の生息環境



[Red box]

の幼生

[Red box]

幼生の生息環境

図 6.1.4-17 貴重なカエル類の繁殖状況(G地区：春季)

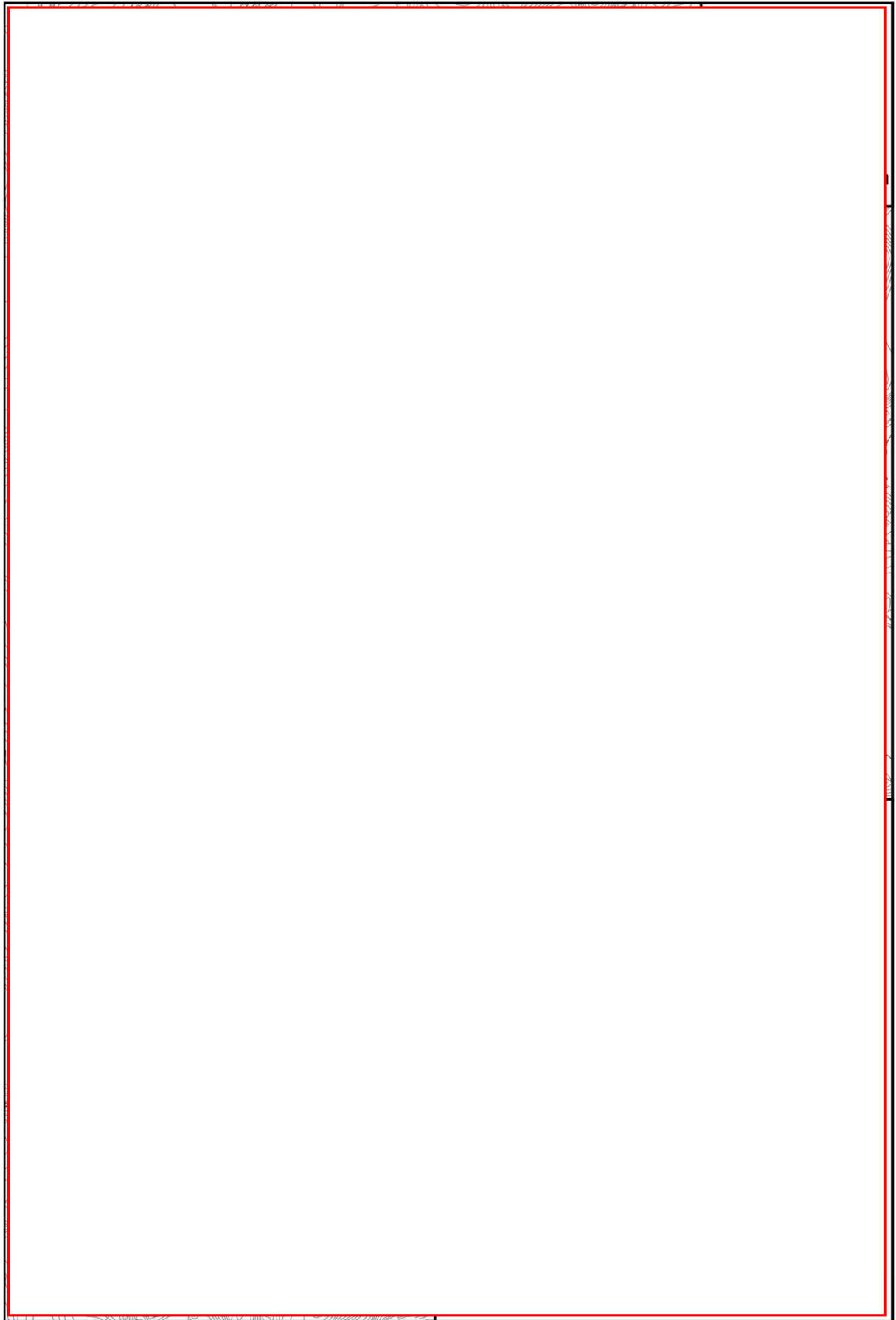


図 6.1.4-18 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(G地区：春季)

イ) 冬季

G 地区における冬季の貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.1.4-15 に、確認した繁殖状況を図 6.1.4-19 に、確認地点を図 6.1.4-20 に示した。

冬季に確認された種は、
 の 5 種であった。このうち、
 の 3 種で繁殖が確認された。

は、着陸帯東側直下の河川、南側及び北側の 3 ヶ所の河川で卵塊が確認され、付近では幼生の確認もあった。確認環境は、湿地環境や緩やかな流れのある浅い砂質であった。

は、着陸帯東側の河川で卵塊が確認され、確認環境は小さな段差が重なる滝の淵であった。

表 6.1.4-15 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (G 地区 : 冬季)

ランク	現地調査に関する基準					
a	繁殖を確認した。	○ 6		○ 1	○ 4	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。			○ 3	○ 1	
c	生息を確認した。	○ 12	○ 4	○ 14	○ 1	○ 3

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例:複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
 注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生(場地区直後の小型の幼体)の確認と定義した。
 注 3) 「繁殖可能性がある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が低いと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



[] の卵塊 [] の産卵環境 (○部分)



[] の卵塊 [] の産卵環境 (○部分)

図 6.1.4-19 貴重なカエル類の繁殖状況 (G 地区 : 冬季)



図 6.1.4-20 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(G地区：冬季)

b) H 地区

(a) 貴重な鳥類の繁殖状況

H 地区における貴重な鳥類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.1.4-16 に、確認した繁殖状況を図 6.1.4-21 に、確認地点を図 6.1.4-22～図 6.1.4-23 に示した。確認時の状況については表 6.1.4-17～表 6.1.4-18 に示した。

H 地区における鳥類確認種は 8 種であった。このうち、
 の 2 種で繁殖が確認された。

は、東側の河川沿い 1 ヶ所で、巣口の形状等から本年度利用したものと考えられる巣跡が確認された。

は、着陸帯北側、北東側、東側の 3 ヶ所で、河川の岩棚に営巣や利用後の巣跡が確認され、西側の河川沿いでは、巣立ち後の幼鳥も確認された。

その他に繁殖の可能性がある種として、
 の 3 種が確認され、それぞれさえずりなどが確認されている。

表 6.1.4-16 貴重な鳥類の生息及び繁殖状況 (H 地区)

ランク	現地調査に関する基準								
a	繁殖を確認した。					○ 1		○ 3	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。		○ 1	○ 2		○ 1		○ 2	○ 1
c	生息を確認したが、繁殖については何もいえない。	○ 2	○ 1		○ 1	○ 37	○ 1	○ 7	

注 1) ランク区分は、環境省第 6 回自然環境保全基礎調査「鳥類繁殖状況調査報告書 (環境省編、平成 16 年)」の区分に準じる。

注 2) 表中の数字は確認件数を示す。

表 6.1.4-17 の確認状況 (H地区)

No.	地区	調査日	調査時間	種名	個体数	形態	ランク	繁殖コード	備考
1	H	20180424	11:06		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
2	H	20180424	11:13		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
3	H	20180424	11:19		1	成体	ランクc	51	おね道
4	H	20180424	11:53		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
5	H	20180424	12:08		1	掘りかけ	ランクb	35	つくりかけ?
6	H	20180424	12:18		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
7	H	20180424	13:13		1	巣跡	ランクc	50	イタジイ
8	H	20180424	15:17		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
9	H	20180424	15:21		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
10	H	20180424	15:33		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
11	H	20180424	15:39		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
12	H	20180424	16:00		1	巣跡	ランクc	50	湿地沿いの斜面
13	H	20180424	16:13		1	採餌痕	ランクc	50	沢沿いの土手
14	H	20180424	16:28		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの木
15	H	20180424	16:42		1	齢不明	ランクc	51	おね道
16	H	20180425	14:05		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの斜面
17	H	20180425	14:18		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの斜面
18	H	20180425	14:35		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの斜面
19	H	20180425	14:50		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの斜面
20	H	20180425	15:30		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの斜面
21	H	20180509	14:42		1	巣跡	ランクc	50	河川沿いの木
22	H	20180509	15:42		1	巣跡	ランクc	50	河川沿い
23	H	20180509	11:15		1	採餌痕	ランクc	50	倒木
24	H	20180509	11:16		1	巣跡	ランクc	50	立ち枯れ
25	H	20180509	11:35		1	巣跡	ランクc	50	河川沿いの木
26	H	20180510	8:26		1	巣跡	ランクc	50	河川沿いの木
27	H	20180510	8:59		1	巣跡	ランクc	50	巣が2連になっている・下の巣口が少し崩れている
28	H	20180510	9:28		1	巣跡	ランクc	50	河川沿いの斜面の木
29	H	20180510	9:42		1	成体	ランクc	50	河川沿い
30	H	20180510	9:42		1	齢不明	ランクc	50	河川沿い
31	H	20180510	11:20		1	巣跡	ランクc	50	沢沿いの斜面
32	H	20180523	13:32		1	齢不明	ランクc	51	林内からcall
33	H	20180523	14:30		1	巣跡	ランクc	50	尾根上のイタジイ
34	H	20180626	14:50		1	採餌痕	ランクc	50	落枝
35	H	20180627	15:02		1	採餌痕	ランクc	50	林道
36	H	20180627	15:35		1	採餌痕	ランクc	50	落枝
37	H	20180627	15:40		1	採餌痕	ランクc	50	立ち枯れ
38	H	20180627	19:57		1	巣跡	ランクa	16	新しい。イタジイに巣穴が空いている。(高さ2mに巣)
39	H	20180628	14:05		1	齢不明	ランクc	50	林内

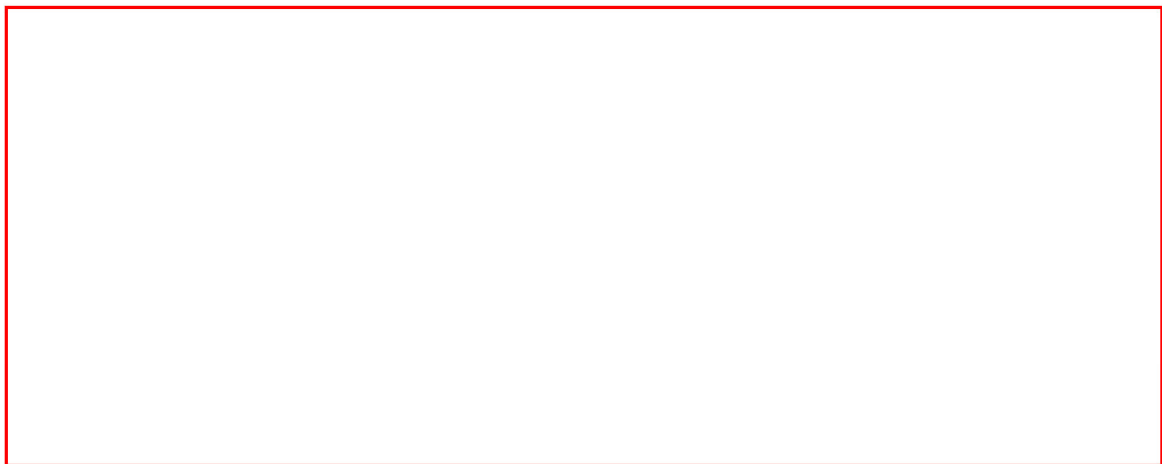


図 6.1.4-21 (1) の繁殖状況 (H地区)

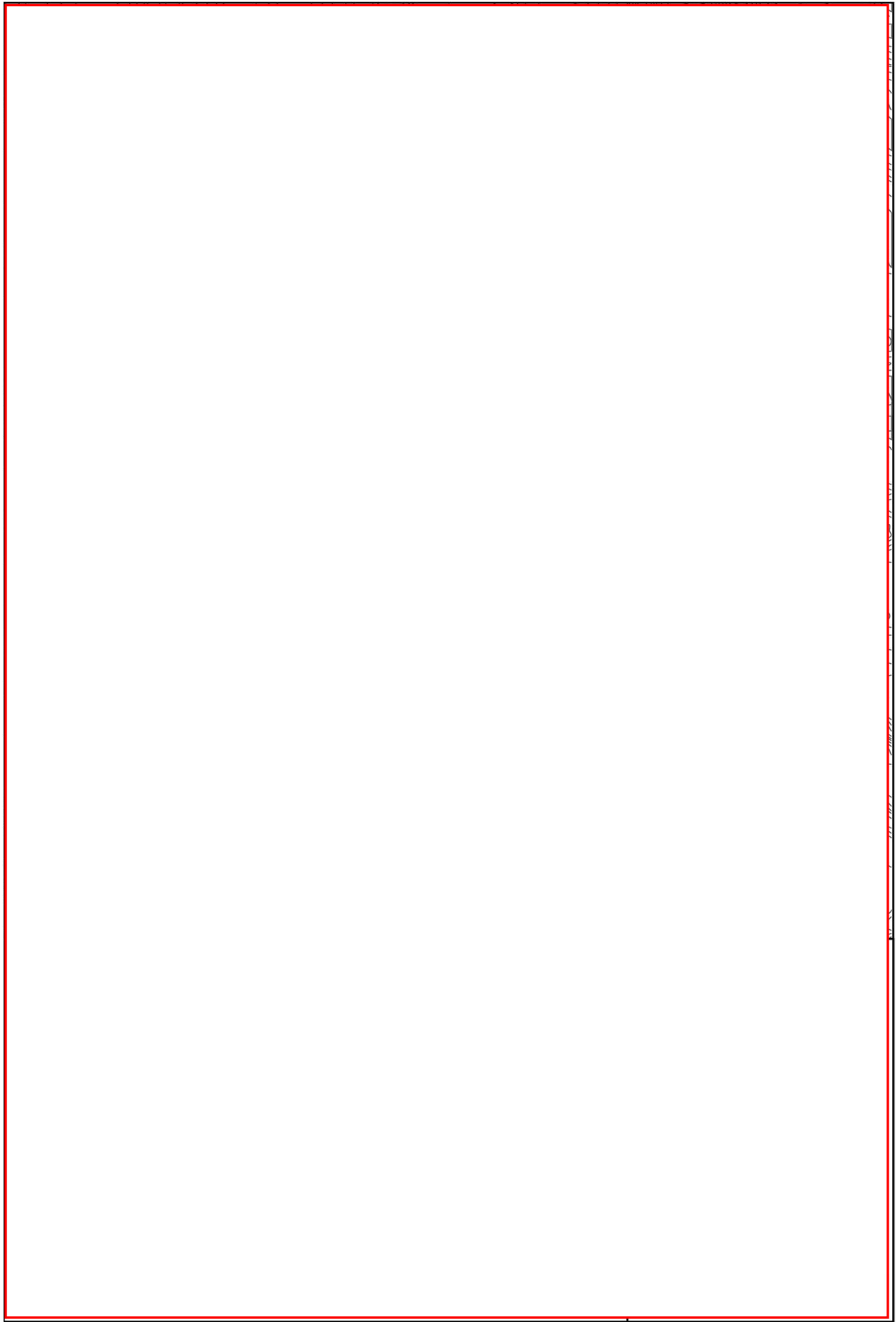


図 6.1.4-22 の確認及び繁殖位置(H地区)

表 6.1.4-18 鳥類の確認状況 (H地区)

No.	地区	調査日	調査時間	種名	個体数	形態	ランク	繁殖コード	備考
1	H	20180628	13:01		1	齢不明	ランクc	50	林内
2	H	20180424	11:49		1	巣跡	ランクa	16	沢沿いの岩壁
3	H	20180424	12:29		1	成体	ランクc	50	沢沿い
4	H	20180424	16:49		1	営巣	ランクa	17	卵 岩棚に巣
5	H	20180509	15:28		1	成体	ランクc	50	岩棚
6	H	20180523	13:49		1	成体	ランクc	50	沢沿い
7	H	20180523	13:49		1	幼体	ランクb	39	沢沿い
8	H	20180626	15:09		1	成体	ランクc	50	斜面
9	H	20180627	14:55		1	齢不明	ランクc	51	林内
10	H	20180627	15:11		1	齢不明	ランクc	51	林内
11	H	20180627	21:36		1	巣跡	ランクa	16	河岸の土手に巣跡
12	H	20180628	11:08		1	成体	ランクc	50	林床
13	H	20180628	11:27		1	成体	ランクb	30	林内、さえずり
14	H	20180510	12:19		2	齢不明	ランクc	51	林内
15	H	20180627	22:07		1	齢不明	ランクc	51	林内・警戒
16	H	20180523	16:55		1	齢不明	ランクc	50	林内
17	H	20180625	19:45		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。林内
18	H	20180425	13:50		1	成鳥	ランクb	30	さえずり。沢下流
19	H	20180425	14:35		1	齢不明	ランクc	51	林内
20	H	20180627	19:30		1	成鳥	ランクb	30	林内、縄張り鳴き
21	H	20180627	20:06		1	成鳥	ランクb	30	林内、縄張り鳴き



の巣と卵

の巣跡

図 6.1.4-21 (2) 貴重な鳥類の繁殖状況 (H地区)



図 6.1.4-23 その他貴重な鳥類の確認及び繁殖位置(H地区)

(b) 貴重なカエル類の繁殖状況

ア) 春季

H 地区における春季の貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.1.4-19 に、確認した繁殖状況を図 6.1.4-24 に、確認地点を図 6.1.4-25 に示した。

春季に確認された種は、の 3 種であり、これら全ての種で繁殖が確認された。

は、着陸帯北西側の河川で幼生が確認された。
は、着陸帯南側の河川の湿地環境で卵塊が確認され、北東側の河川では幼生が確認された。は、北東側の河川で卵塊及び幼生が確認され、着陸帯周辺の複数のヶ所で幼体も確認された。

表 6.1.4-19 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (H 地区 : 春季)

ランク	現地調査に関する基準	<input type="text"/>		
a	繁殖を確認した。	○ 1	○ 3	○ 3
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性がある。	○ 1	○ 1	○ 4
c	生息を確認した。	○ 17	○ 8	○ 11

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例: 複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。
注 3) 「繁殖可能性がある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



[]の幼生

[]幼生の生息環境



[]の卵塊

[]の産卵環境(○部分)



[]の卵塊

[]の産卵環境(○部分)

図 6.1.4-24 貴重なカエル類の繁殖状況(H地区:春季)

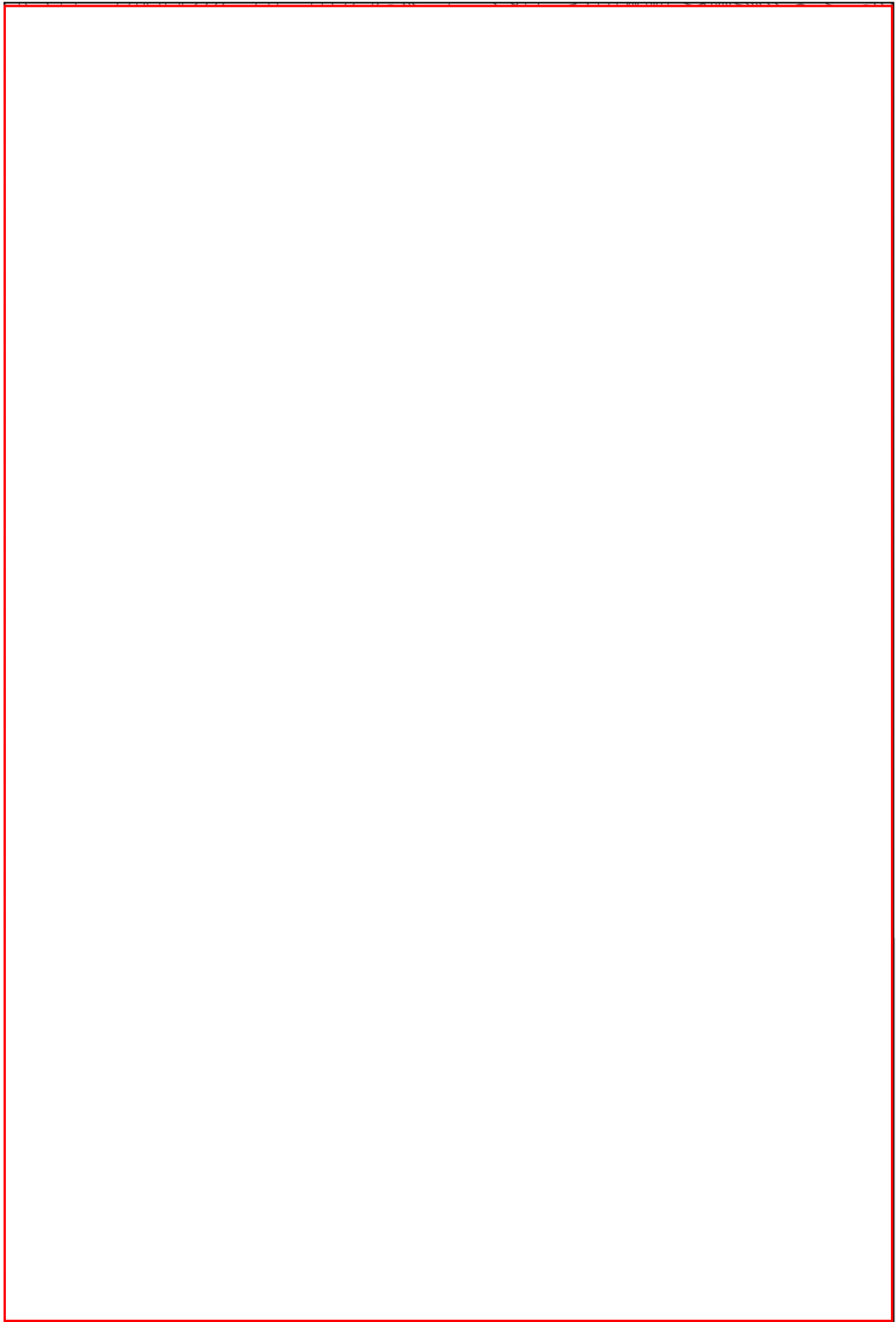


図 6.1.4-25 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(H地区：春季)

イ) 冬季

H 地区における冬季の貴重なカエル類の生息及び繁殖の確認状況を表 6.1.4-20 に、確認した繁殖状況を図 6.1.4-26 に、確認地点を図 6.1.4-27 に示した。

冬季に確認された種は、
の 5 種であった。このうち、
の 3 種で繁殖が確認された。

は、着陸帯東側、南側、西側の 3 ヶ所の河川で卵塊が確認され、付近では幼生の確認もあった。確認環境は、湿地環境や緩やかな流れのある浅い砂質であった。

は、着陸帯東側、北西側の河川で卵塊が確認された。確認環境は小さな段差が重なる滝の淵であった。

は、着陸帯周辺河川の複数のヶ所で幼生が確認された。

これら 3 種のほかに、繁殖の可能性のある種としての幼体が確認された。

表 6.1.4-20 貴重なカエル類の生息及び繁殖状況 (H 地区 : 冬季)

ランク	現地調査に関する基準					
a	繁殖を確認した。	○ 11		○ 5	○ 19	
b	繁殖の確認はなかったが、繁殖の可能性はある。	○ 1		○ 3	○ 5	○ 4
c	生息を確認した。	○ 14	○ 2	○ 41	○ 2	○ 13

- 注 1) 表中の数値は、各観察コードに該当する調査確認の件数を表す。例:複数個体から成る繁殖集団は 1 と集計。
 注 2) 「繁殖を確認」は、産卵(産卵場と推定される水場周りでの繁殖期の鳴き声含む)、卵(卵塊含む)、幼生、1cm 前後の小型の幼体の確認と定義した。
 注 3) 「繁殖可能性はある」は、2cm 前後及び比較的小型で移動性が高くないと考えられる幼体を確認した場合と定義し、これより大型で移動性が高いと考えられる幼体の確認は除外した。
 注 4) 「生息を確認」は、ランク a、ランク b 以外の確認(成体等)と定義した。



[] の卵塊

[] の産卵環境 (○部分)



[] の卵塊

[] の産卵環境 (○部分)

図 6.1.4-26 貴重なカエル類の繁殖状況 (H地区 : 冬季)

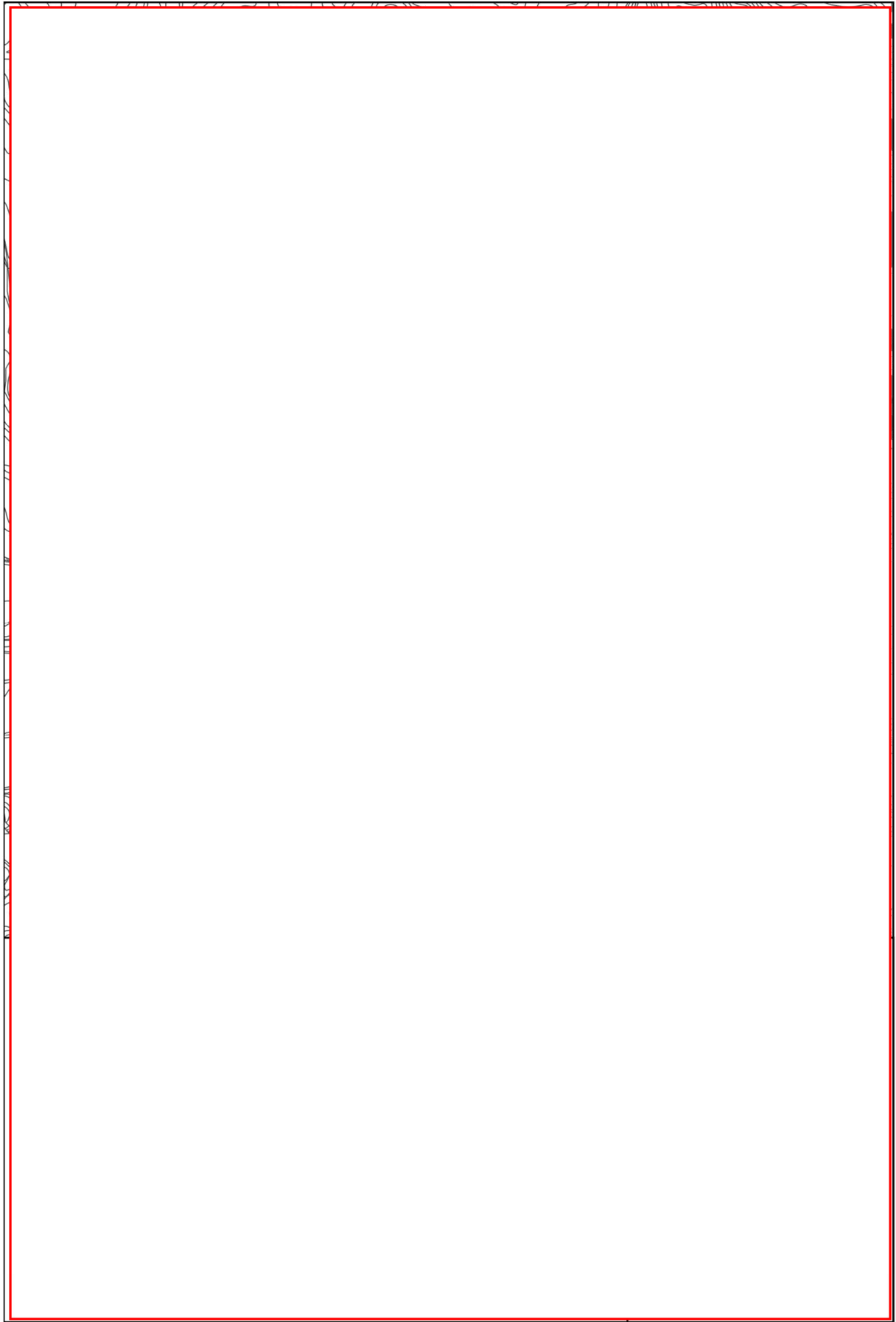


図 6.1.4-27 貴重なカエル類の確認及び繁殖位置(H地区：冬季)